



教室のご案内

バードウォッチング（自由参加）

6月22日、7月27日（日）

午前9時～11時

※集合場所は林泉の池堰堤

草花のしおり作り教室（定員10人）

7月6日（日）午前9時～11時

ネイチャーセンター ※要申し込み

池面に繁茂 — ジュンサイ —

梅雨から夏の間、林泉の池の上流の堰堤でできた池が、蓴菜に覆われます。

ジュンサイはスイレン目ハゴロモ科の多年生の水生植物です。葉を水面に浮かべる水草で、澄んだ淡水の池に自生します。地下茎が水底の泥の中にあり、水中茎を水面へ伸ばし水面いっぱい葉を付け広がります。葉は大きさ10cmほどで切れ込みがない楕円形です。表面は艶のある緑色を、裏面は紫色を帯びています。茎や葉の裏面には分泌毛があり、水中の部分は分泌された

粘液質で覆われています。ゼリー状の膜で覆われた若芽はプルンとした独特のぬめりがあり、日本食の食材として珍重されています。7～8月になると水面に伸びた柄の先に1cmほどの紅紫色の花を付けます。花は早朝に開き夕刻に閉じ水没し、開閉を2日間続けた後、水中で結実します。夏の間、池いっぱい広がったジュンサイの上をトンボなどの昆虫が飛び交います。さまざまな命が息づく陶史の森の環境を守り続けたいものです。

トキハク
プロジェクト

新博物館準備だより

学芸員は、いま何してる？

美濃陶磁歴史館
(☎55-1245)



昭和35年頃の妻木劇場

第14回 妻木の映画館事情

現在、美濃陶磁歴史館では新博物館開館へ向けて市内の古写真を集めています。提供していただいた写真の中で、今回は妻木町にあった映画館（妻木劇場）を紹介します。

妻木劇場は、昭和6年に歌舞伎などを上演する劇場として開館し、昭和16年には映画上映が主となりました。その後、テレビの普及で利用者が減少し、昭和43年に閉館しました。妻木劇場があった近隣の方からは、「片岡千恵蔵など往年の名スターの映画をカジリつくように見た」、「映画館がある通りは、食堂や電気屋などのさまざまな業種のお店が立ち並び、映画上映の時

には人々でごった返していた」といった当時の思い出を聞くことができました。また、多くの方が、映画の上映前にスピーカーで告知放送があったことを覚えていらっしゃるいました。

昭和30年代には妻木以外にも、泉に2か所、土岐津に1か所、駄知に2か所、下石に2か所映画館があり、市民の娯楽の一つでした。

駄知町にあった映画館が閉館してから48年。4月18日にイオンシネマ土岐が開業しました。映画館が、地域の皆さんに愛され、笑顔が集まる場所になることを願っています。